



茨城ワイズメンズクラブ
2022 年度-2023 年度
7 月報 Vo I .179
強調月間テーマ

ASF・RBM

THE Y'S MEN'S CLUB OF
IBARAKI
CHARTERED 2006



国際会長主題.....「Let Your Shine」
アジア太平洋地域会長主題.....「Be the light for change」
東日本区理事主題.....「未来のために今、学びと気づきを！」
関東東部部長方針.....「親睦を糧に、クラブライフの充実」
茨城クラブ会長主題.....「原点回帰」

<例会プログラム>

と き:2023 年 7 月 9 日(金)
19:00~21:00(最大)
と ころ:筑波学園教会礼拝堂
zoom によるハイブリッド開催
zoom によるリモート開催
司 会:熊谷光彦
開会挨拶と点鐘:熊谷光彦
ワイズソング:(リモート開催時はスキップ)
ワイズ信条:(リモート開催時はスキップ)
1、自分を愛するように隣人を愛そう
1、青少年のために YMCA に尽くそう
1、世界的視野をもって
国際親善をはかるう
1、義務を果たしてこそ
権利が生ずることをさとうう
1、会合には出席第一
社会には奉仕第一を旨としよう
今月の聖句・祈祷:熊谷光彦
協議:新年度計画、その他
ハッピーバースデー &
おめでとう結婚記念日:
スマイル:(リモート開催時はスキップ)
茨城 Y M C A 報告:和田賢一
次回例会案内:熊谷光彦
閉会挨拶と点鐘:熊谷光彦

☆今月の聖句☆

人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人にしなさい。これこそ律法と預言者である。
(マタイによる福音書 7 章 12 節)

「日々勉強」

茨城 YMCA 初見 宗一郎(ルパンリーダー)

2023 年 3 月に入職しました。初見宗一郎(リーダーネーム:ルパン三世)と申します。宜しくお願い致します。みどりのセンター本館「ひかりの子みらい」で支援を担当しています。

私は、ひかりの子主任のだいこん(櫻井リーダー)がきっかけで茨城 YMCA に入職しました。4 月までは東新井センターにてひかりの子の支援をしていました。そこでリーダーネームを覚えてもらうにはどうすればいいのか、子どもとの距離感・接し方等とにかく日々、試行錯誤をしていました。日々子どもたちと関わっているうちに、リーダーと認知してもらえるようになったり、私自身も子どもの名前を覚えたりすることが出来ました。それは、5 月から配属になったみどりのセンター本館にても実践しています。環境が変わり、新たに覚える事がでてきて、失敗することもあります。そこで PDCA サイクルを行い日々、試行錯誤をしています。それを私が携わっているひかりの子みらいで行っている支援にも応用し、子どもたちに、より良い支援が出来るようにと思っています。

まだまだ未熟で、わからないことも多々ありますが、だいこんリーダーを始め他の



リーダーから教わったり指導していただいたりしつつ、自ら支援に関わる情報を入手、定期的アップデートし、子どもたちのニーズに応えつつ、より良い支援をしていきたいと思っています。

【例会報告】

6月例会は、9日(金)の19時から、筑波学園教会礼拝堂にて zoom によるハイブリッド環境を用意して開催しました。



GW中に倉敷市自然の家を会場に2泊3日の日程で行われた第54回全国YMCAリーダー研修会に茨城から参加したリーダーによる報告がメインでした。皆で夕食のカレーライスをいただいた後、発表が始まりました。



スクリーンに映し出されたのは、ふんだんに画像やアニメーションが使用されたプレゼン資料。全国から集まった若者たちが、すぐに打ち解けあい様々なプログラムを通して「モノの見方はいろいろある」や「見えていないモノを見ようとする」



といった課題を互いに協力しながら真剣に、そして楽しそうに学んでゆく様子がとてもよく伝わってきました。しかし、とくに感心したのは「使いこなしているなあ、Google Slide (プレゼンテーション用アプリ) を・・・」だったかもしれません。

6月例会(ハイブリッド開催)出席状況

会員:6名(大澤、熊谷、村田、柳瀬、和田、宮田)、
スタッフ:4名、リーダー:3名、ゲスト:2名、出席
総数:15名、在籍者会員数:8名、会員出席率:75%

(書記 村田)

【第26回東日本区大会報告】

2023年6月3日(土)～4日(日)、山梨県甲府市のAPIO甲府において第26回東日本区大会が行われ、約300名ほどの参加がありました。コロナ禍の影響により、4年ぶりの対面での開催ということで、再開の喜びに満ち溢れた大会となりました。

茨城からは大澤篤人と私(和田賢一)の2名が参加、私は3日(土)午前11:00の担当主事会から出席しました。午後から区大会オープニング、



バナーセレモニー(写真は関東東部の登壇の様子)、開会式と続きました。そして、石丸謙二郎氏による記念講演が行われました。「やってみなければわからない」をキーワードに、石丸氏が多岐にわたって実践してきた趣味のお話は、あっという間に時間が過ぎました。夕方からはユースの活動報告やスピーチコンテスト受賞者の発表があり、会場にいた誰もがユースの力を感じ、ワイズのユース支援への思いが形になった時間でもありました。夜には晩餐会、フェロシップが持たれました。4日(日)は、朝8:15の礼拝から始まり、表彰、理事引継ぎ式が行われ、お昼前に閉会となりました。

次回の第27回東日本区大会は、帯広で開催されます。茨城からも多くのメンバーが参加できればと思います。

(担当主事 和田)

【事務報告】

会計報告 (6月9日～7月8日)

前月繰越金	¥79,464-
例会準備	▲¥1,500-
スマイル	¥4,151-
寄付献金	▲¥1,000-
次月へ繰越	¥81,115-

会員のみなさまにおかれましては、会費の前納にご協力を賜りたく願います。

(会計 柳瀬)

【茨城 YMCA 報告】

6月の報告

- 3～4日 春のオーバーナイトキャンプ
- 3日 幼保園デイキャンプ
- 3日～4日 東日本区ワイズメンズクラブ大会
- 5日 早天祈祷会
- 6日 二葉こども園プール指導
- 7日 デイキャンプクラブ担当者会
- 7日 学童研修
- 8日 主任会
- 9日 救命救急講習会
- 11日 デイキャンプクラブユースクラブ
- 12～19日 みらいへゴール
- 13日 二葉こども園プール指導
- 15日 チャリティーラン委員会
- 16～18日 全国YMCA総主事会議・協議会
- 16～18日 山中湖リーダートレーニング
- 17日 障がい児者自立支援たんぽぽクラブ
- 20日 二葉こども園プール指導
- 21日 救命救急講習会
- 22日 二葉こども園プール指導
- 22日 職員会
- 23～25日 野尻リーダートレーニング
- 27日 二葉こども園プール指導
- 29日 二葉こども園プール指導

7月の予定

- 3日 早天祈祷会
- 3日 主任会
- 4日 二葉こども園プール指導
- 5日 キャンプ担当者会
- 6日 二葉こども園プール指導
- 6日 チャリティーラン委員会
- 7日 オリーブ園保育参観
- 8日 小学生デイキャンプクラブつくわいクラブ
- 9日 障がい児者自立支援たんぽぽクラブ

- 11日 二葉こども園プール指導
- 12日 デイキャンプクラブ担当者会
- 12日 学童研修
- 13日 職員礼拝・職員会
- 15日 4・5歳児デイキャンプクラブわんぱくクラブ
- 16日 中高生デイキャンプクラブユースクラブ
- 20日 幼保園保育参観
- 21日 二葉こども園白組キャンプ指導者派遣
- 21日～ サマースクール開始
- 21～25日 野尻キャンプ
- 22日 幼保園体験入園

(連絡主事 和田)

【編集後記】

ワイズの活動9年目、書記としては8年目に入ります。そうすると、85回目のブリテン発行になるわけで、考えてみれば長くやってきたものだな、と思います。

先月のブリテンで、ワイズのあり方について問題提起をしました。その後、幸いなことにいろいろな方と意見を交わすことができました。話し合える、ということはなんにせよ一歩前進です。黙っていればすれ違いになるようなことも、言葉を交わせばわだかまりもずっと溶けてしまうこともおうおうにしてあります。言いたいことは遠慮せず、口にしているのだと思います。若い新メンバーを迎えるワイズとして、変わっていかねばならない、という強い危機感を感じています。



写真はコメダ珈琲の「ジェリコ」。集中して仕事をしたいときの最近のお供です。

(書記 村田)

茨城クラブの過去のブリテンを確認していたところ昨年度の9月号を、その前の8月号と同じVol.番号で発行していたことが判明しました。というわけで、先月号はVol.177でしたが、今月号をVol.179とさせていただきます。

(会長 熊谷)

いざ立て

ONCE MORE WE STAND

(フィンランディア) より

淵田多穂理 訳詞

Words by Presu. Emeritus Paul Wm. Alexander

1. いざたて、こころあつと
 2. うたえ、こころひと
 1. Once more we stand, New zeal our hearts im
 2. As now we sing, In com-rade-ship more

くし — 手をあげち かいあら
 つに — ともがきひ ろがりゆ
 bu ing; — ; we raise our hand, Our ser-vice pledge re-
 bind ing; — ; Our love we bring, Re-ward in friend-ship

たに われらのモットーまもる
 きて とおきもちかきもみな
 new-ing, Ne'er-to de-ny our — mot-to's — claim
 find-ing. To ev'-ry Y's men — far. and — near

— ふさわし、そのなワイズメン
 — ささげて、たつやワイズメン
 — Y's men in Fact as well — as name.
 — we pledge de vo tion most — sin cere.

たえせず、めあてのぞみ
 さかえと、ほまれゆたか
 Al-ways our ob-jects — to pur — sue
 Glo-ry and pride Y's — men to — be

— こみをは ささげつくさん。
 — まことはむねにあふれん。
 — we con-se-crate our selves. — anew.
 — Fill ev'-ry heart with loy - al - ty.